

平成 29 年度 総務・通学部会 中間報告

1 開催について

下記のとおり開催した。

回数	開催日／場所	協議事項
第 5 回	平成 29 年 6 月 7 日 (水) 午後 7 時～ 小川文化センターアピオス 2 階 会議室	(1) 副部会長の選出 (2) 本年度スケジュール (案) について (3) スクールバスの利用基準について (4) 体操服等の使用について
第 6 回	平成 29 年 6 月 28 日 (水) 午後 7 時～ 小川総合支所 大会議室	(1) スクールバスの運行計画案について (2) 校歌の作成方法について
第 7 回	平成 29 年 7 月 11 日 (火) 午後 7 時～ 小川総合支所 大会議室	(1) 校章の作成について (2) スクールバスの運行計画案について (3) 校歌の作成について
第 8 回	平成 29 年 8 月 8 日 (火) 午後 7 時～ 小川総合支所 第 1, 第 2 会議室	(1) スクールバスの運行計画案の修正について (2) 歌詞の募集について (3) 体操服等について
第 9 回	平成 29 年 9 月 4 日 (月) 午後 7 時～ 小川総合支所 第 1, 第 2 会議室	(1) 校歌の作成について (2) 準備委員会への報告について

2 各協議事項

(1) 校章について

第 9 回準備委員会で報告したとおり、藤代範雄氏へ校章の作成を依頼し、第 7 回総務・通学部会に藤代氏に参加いただき、校章の作成についてディスカッションを行った。

調査検討結果

「伝統的」・「慣れ親しんだもの」・「全く新しいもの」をイメージする 3 案を作成し、それを 12 月開催予定の準備委員会で、藤代氏が発表する。

また、その場で、準備委員会委員全員での選定を行うこととした。

(2) 校歌について

校歌作成の先行事例を参考に、作成の依頼を誰にするかの検討を行い、基本的な考え方として、作詞・作曲の依頼は、地域に関わりのある人を優先して選考するとしたうえで、調査を行った。

また、作詞について、地域全体で、校歌の作成に関われるように歌詞の一部を募集することとした。

調査検討結果

作曲を依頼する人として、東京芸術大学音楽部音楽研究センター音響研究室教育研究助手の田川めぐみ氏（橘小学校卒）を候補とした。また、作詞は、田川氏から推薦いただいた声楽家の河野陽介氏を候補とした。

募集については、歌詞の一部のみとせず校歌素材として、校歌に取り入れたい言葉、校歌のイメージ等を募集することとした。

【参考1】基本的な考え方及び先行事例

【参考2】作成依頼候補者プロフィール（作曲；田川めぐみ、作詞；河野陽介）

【参考3】校歌素材募集要項（案）

(3) 体操服等について

第10回の準備委員会において、意見のあった下記の2点について協議を行った。

- ・3種類の体操服が混在することで、学校が管理上問題となることは無いか。
- ・平成30年度の新一年生に対する購入の案内について

また、体操服等の校名プリント等が入った参考品をもとに確認を行った。

調査検討結果

第10回の意見について、両学校長から学校での検討の報告があり、管理上の問題は無く、平成30年度の新入生への説明会においては、新しい体操服等の購入を案内することとする。

また、提案では、半ズボンの左すそに校名プリントを入れることとなっていたが、無くすこととした。

(4) 通学体制・通学路等・スクールバスについて

通学距離基準を3kmとして、スクールバスの利用対象の検討を行う。

さらに、運行経路、乗降場所を合わせ検討するため小川南小学校スクールバス運行計画案を作成した。

調査検討結果

別紙「小美玉市立小川南小学校スクールバス運行計画案」のとおり。

3 今後の予定（今年度）

（1）校章について

12月に開催予定の準備委員会において、校章案の発表及び選定を行う。

（2）校歌について

校歌素材募集を実施し、総務・通学部会で、提供する歌詞等の選定を行う。
準備委員会に選定した歌詞等を報告し、作曲・作詞の依頼を行う。

（3）体操服等について

準備委員会での検討を終了する。

導入へむけて、茨城トンボ株式会社への依頼、新しい体操服等の周知を行っていく。

（4）通学体制・通学路等・スクールバスについて

利用者負担を検討する。

校歌の作成方法について

1 作成に関する基本的な考え方

- (1) 小川南小学校の校歌を新しく作成する。
- (2) 統合前年度の第2学期中を目途として作成する。
- (3) 作成を依頼する場合には、地域との関わりがあり、情景等を理解している方とする。

2 作成の方法

【作 詞】

- (1) 校歌の歌詞に入れたい言葉、フレーズを募集し、募集のあった言葉などをもとに、部会の中である程度の絞込みを行う。

最終的な構成は、音楽に精通した専門家や教員等に依頼する。

- (2) 委員の方から知人等を推薦していただき、選考した上で依頼する。

【作 曲】

- (1) 委員の方から知人等を推薦していただき、選考した上で依頼する。

3 作成までのスケジュール（募集を行った場合）

7月	総務・通学部会(第7回)・・・作成方法の検討，作曲者等の選定
8月	総務・通学部会(第8回)・・・歌詞募集要領の検討
9月	準備委員会(第10回)・・・上記の部会決定事項について報告
10月	【歌詞に入れたい言葉などの募集】
11月	総務・通学部会(第9回)・・・募集結果の整理，集約
12月	準備委員会(第11回)・・・上記の部会決定事項について報告
12月	【歌詞及び作曲の制作依頼】
3月以降	校歌完成

◎校歌作成の参考

学校名	作詞	作曲	期間	選考方法
茨城町立青葉小 (H27.4開校)	マシコタツロウ	マシコタツロウ	約6ヶ月	委員からの推薦
茨城町立葵小 (H28.4開校)	マシコタツロウ	マシコタツロウ	約6ヶ月	青葉小の校歌作成したことから再度依頼する。
かすみがうら市 立霞ヶ浦南小 (H28.4開校)	松井 孝夫	松井 孝夫	約6ヶ月	市内の小中学校音楽教諭にアンケートを実施し、参考にした。
かすみがうら市 立霞ヶ浦北小 (H28.4開校)	松井 孝夫	松井 孝夫	約6ヶ月	市内の小中学校音楽教諭にアンケートを実施し、参考にした。
<p>※茨城町は葵小の校歌作成の際、先に作成していた青葉小との同町内としての統一感を選考理由のひとつとしている。</p> <p>※かすみがうら市は同時の依頼であったが、同一市内としての統一感を狙いとして同一人に依頼している。</p>				
銚田市立 銚田北小 (H28.4開校)	金沢 智恵子	橋本 祥路	約6ヶ月	音楽教科書作成会社からの推薦で、作成依頼する。作曲者は行方市麻生東小でも作曲している。
行方市立北浦小 (H28.4開校)	阿部幸子(ペンネーム：黒羽由紀子)	吉田 彦次	3～4ヶ月 (詳細不明)	作詞については詳細不明。作曲は元音楽教諭。現在も行方在住。
行方市立玉造小 (H26.4開校)	菅谷 千明	八木沢 教司	詳細不明	作詞は教育委員長が行う。作曲は専門家である。
取手市立 取手西小 (H28.4開校)	大野 靖之	山下 祐加	約6ヶ月	部会で推薦し、上位機関で協議の上決定。

◎小川小学校校歌歌詞

校 歌

作詞 加茂川 恒
作曲 森田 茂

一

むらさきにお
紫匂う 筑波嶺も
かすみがうら
霞ヶ浦の うら波も
よ
呼べば応えむ 高台の
なが
眺めは広し 小川校

二

にわ さくらぎ
庭の桜木 年古りて
かみしの
その昔偲ぶ 石碑の
こけ おもて
苔むす面 文字かすか
ゆいしよ
由緒は深し 小川校

三

ちがわ
小川の矜持 ほこらかに
さ なでしこ
咲く撫子の とりどりも
いら
五つの教え 胸に占め
おお
雄々しく伸びよ 我が友よ

(昭和七年十一月制定)

◎橘小学校校歌歌詞

たちばな小学校 校歌

むらさきつくば のぞみ見て
かがやくひとみ おどるむね
あさかせすつて 手をくんで
ほくもわたしも たくましく
あかるくのびゆく げん気な子
ま白いくもを あおぎ見る
かしこいひとみ いのるさち
まなびのみちを どこまでも
ほくもわたしも みがきあい
ただしくのびゆく まじめな子
かすみがうらの なみしずか
やさしいひとみ すむこころ
まごころかたく みにつけて
ほくもわたしも ひとすじに
大きくのびゆく にほんの子
れきしゆたかな ふるさとよ
はえあれ たちばな小学校

田川 めぐみ

1988年生まれ，茨城県小美玉市出身（小川ニュータウン）。

クラシックからポップス，ジャズ，映画音楽などの作編曲，音楽教育事業やアプリケーションコンテンツのための音源制作を行う。

ピアノ，キーボード，ハモンドオルガン，鍵盤ハーモニカなどの演奏活動も行う。

ピアノ演奏ではゲーム音楽，アニメ，テレビドラマ楽曲の演奏に参加。

東京芸術大学作曲科卒業，同大学院音楽研究科作曲専攻修士課程終了。

学内にて安宅賞，卒業時にアカンサス音楽賞¹，修了時に大学院アカン

サス音楽賞受賞。

現在，同大学音楽学部音楽研究センター音響研究室教育研究助手。

¹ 「アカンサス賞」は芸大の学部生、「大学院アカンサス音楽賞」は修士の学生の中で、各科（作曲、ピアノ、声楽、古楽、など）から優秀な成績を修めた学生若干名に授与

河野 陽介(かわの ようすけ)

茨城県神栖市出身。千葉県立佐原高等学校卒。東京藝術大学音楽学部声楽科卒。

これまで声楽を、寺谷千枝子、シュテファン・ゲンツ、渡辺明、渡辺一夫の各氏に師事。

ソリストとして、ベートヴェン作曲「交響曲第九番」を中央区交響楽団と、フォーレ作曲「レクイエム」をアンサンブル金沢と共演する。

合唱指導にも定評があり、佐野第九演奏会にて合唱指揮を務め、飯森範親氏、松尾葉子氏から絶賛を博した。

全国各地で音楽活動を展開する傍ら、地方在住にこだわり地域に密着した文化芸術の振興に携わる。

小美玉市との関わり合いは深く、四季文化館みの〜れや小川文化センターアピオスにおけるボランティア活動やイベントへの出演、市内小学校での合唱指導などに携わってきた。

かねてより、母校である東京藝術大学非常勤講師の西島央の呼びかけによって「ふるさとの4番を作る」プロジェクトに参加し、これに感化され、地元である神栖市の大野原小学校で同様のプロジェクトを行なった。編曲は、小美玉市出身の作曲家 田川めぐみさんが担当した。

現在、劇団四季「ノートルダムの鐘」、BS-TBS「日本名曲アルバム」出演中。
NHK Eテレ「ムジカ・ピッコリーノ」原語・歌唱指導。渋谷クロスFM パーソナリティ。

※「ふるさとの4番を作る」プロジェクト

平成21年に、東京の麻布高校で、外部講師を務める西島央先生（首都大学東京准教授）が、「自分たちの心のよりどころとなるふるさとの4番の歌詞を作ることで、なぜふるさとが日本人の心のよりどころになっているかを歌詞の内容から読み解きながら、国家とは何かを考えるきっかけとしたい」と考え始まったプロジェクト。

小美玉市立小川南小学校「校歌素材」募集要項（案）

1 目的

小美玉市立小川南小学校の校歌を作成するにあたり、「校歌素材」として、歌詞に取り入れたい言葉や校歌のイメージ等を募集し、新しい学校にふさわしい校歌を作成する事を目的とする。

2 応募期間

平成 年 月 日（ ）～平成 年 月 日（ ）（郵送の場合は当日消印有効）

3 応募資格

- (1) 小川小学校・橘小学校・小川南中学校の児童・生徒及び保護者
- (2) 小川小学校区・橘小学校区に在住の方
- (3) 小川小学校・橘小学校・小川南中学校の卒業生の方

4 応募内容

「校歌素材」とは、歌詞に取り入れたい言葉や校歌のイメージ等とします。

歌詞に取り入れたい言葉は、小川南小学校の校歌の歌詞にふさわしいと思う言葉・フレーズとします。また、校歌のイメージ等は、歌詞の内容、曲調等校歌全体についてのご意見とします。

なお、歌詞全部を募集するものではありません。

5 応募方法

応募用紙（任意様式可）に以下のことを記入し、応募箱に投函するか、郵送またはファックス、メールにて応募する。

- (1)歌詞に取り入れたい言葉
- (2)校歌にこめたい想い
- (2)応募者の住所、氏名及び応募資格区分

6 応募先

- (1) 応募用紙の提出先（応募箱と応募用紙の設置場所）

市役所小川総合支所，小川文化センターアピオス，小川図書館，小川南中学校，小川小学校，橘小学校

- (2) 郵送・ファックスの場合（問い合わせ先）

〒311-3492 小美玉市小川4-11

小美玉市教育委員会 施設整備課 学校づくり推進係 宛

TEL：0299-48-1111 FAX：0299-48-1199

- (3) メールの場合（応募先）

shisetsu@city.omitama.lg.jp

本文に必要事項を記入して送信するものとする。（添付ファイルでの応募は不可）

7 周知方法

- (1) 市ホームページへの掲載及び各世帯に応募用紙を兼ねた統合準備委員会たよりを配布
- (2) 応募用紙を市役所小川総合支所，小川文化センターアピオス，小川図書館に備え置く
- (3) 学校を通じて，小・中学校の児童・生徒に応募用紙を配布

8 校歌（歌詞）の作成方法

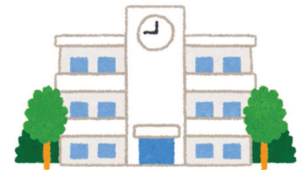
応募のあった「校歌素材」から，歌詞の作成を依頼する作詞家に提供するものを選考します。

9 校歌の発表

校歌の完成は，準備委員会だより等にて周知いたします。

あたが がっこう こうか かんが
新しい学校の校歌について考えてください

おがわしょうがっこう たちばなしょうがっこうとうごうじゅんびいいんかい ねが
小川小学校・橋小学校統合準備委員会からのお願いです。
へいせい ねん がつ おがわしょうがっこう たちばなしょうがっこう いっしょ おがわみなみしょうがっ
平成31年4月から小川小学校と橋小学校が一緒になって小川南小学
校が開校します。この新しい学校の校歌の歌詞に取り入れたい言葉やイメージ
などを考えてください。



○ ^{こうか}校歌に^と取り^い入れ^{ことば}たい言葉

○ ^{こうか}校歌の^いイメージ^{など}など

^{がっこうめい} 学校名	^{しょうがっこう} 小学校	^{ねん} 年	^{くみ} 組
^な 名 ^{まえ} 前			

小川南小学校の校歌素材を募集します。

平成31年4月に開校する小川南小学校の校歌を作成するにあたり、新しい学校にふさわしい校歌とするため、校歌素材（歌詞に取り入れたい言葉や校歌のイメージ等）を募集します。

1. 応募資格

- ① 小川小学校・橘小学校・小川南中学校の児童生徒及びその保護者
- ② 小川小学校区・橘小学校区に在住の方
- ③ 小川小学校・橘小学校・小川南中学校の卒業生

2. 応募期間

平成29年 月 日()～平成29年 月 日()
 ※郵送の場合は当日消印有効

3. 募集内容

- ・歌詞に取り入れたい言葉
 - ・校歌のイメージなど
- ※歌詞全てを募集するものではありません。

4. 応募の方法

ページ下部の応募用紙または任意の用紙に必要事項を記入し、応募箱に投函もしくは下記事務局まで郵送、FAX、メール（注：本文に必要事項を記入したもののみ可とし、添付ファイルは不可とします）でお送りください。

- 必要事項：①歌詞に取り入れたい言葉
 ②校歌のイメージなど
 ③住所 ④氏名 ⑤応募資格区分

5. その他

- ・応募のあった校歌素材の中から作詞家、作曲家へ提供するものを選考します。
- ・提供したものを参考に作詞家、作曲家が校歌を作成します。
- ・ご記入いただいた住所、氏名は校歌素材選考以外の目的では使用いたしません。

6. 応募用紙・応募箱設置場所

- ・小川総合支所 ・小川文化センター アピオス
- ・小川図書館

応募用紙は市ホームページにも掲載しています。
<http://www.city.omitama.lg.jp/0025/genrel-2-001.html>

発行：小川小学校・橘小学校統合準備委員会

（事務局）小美玉市教育委員会

施設整備課 学校づくり推進係

住所 〒311-3492 小美玉市小川4-11

電話 0299-48-1111(内線2212・2216・2217)

FAX 0299-48-1199

Eメール shisetsu@city.omitama.lg.jp

統合準備委員会の日程は、市のホームページでお知らせしています。委員会は、自由に傍聴できますので、詳細は事務局までお問合せください。

※会議の議事録等は、市ホームページで公開しています。
<http://www.city.omitama.lg.jp/0025/genrel-2-001.html>

キリトリ

小川南小学校 校歌素材 応募用紙

小川小学校・橘小学校統合準備委員会事務局
 小美玉市教育委員会施設整備課 学校づくり推進係宛

歌詞に取り入れたい言葉（小川南小学校歌の歌詞にふさわしいと思う言葉・フレーズ）

校歌のイメージなど（歌詞の内容、曲調等、校歌全体についてのご意見）

住所

応募資格区分（該当に☑してください）

氏名

- ①小川小・橘小・小川南中の児童生徒及びその保護者
- ②小川小学校区・橘小学校区に在住
- ③小川小・橘小・小川南中の卒業生

いずれか一つのみでも可

小美玉市立小川南小学校スクールバス運行計画案

別紙

基本的な考え方

・利用基準

教育活動に支障のないよう、以下に掲げる要件に該当する場合に、通学支援を行う。

通学距離が、概ね3km以上の行政区

通学距離が、2km以上3km未満で次の要件に該当する行政区

- ・少人数のために集団登下校ができない行政区
- ・県道が通学路となり、歩道等による安全が確保できない行政区

・運行路線及び乗降場所

運行経路は、児童の精神的負担等の軽減を図るため、最短経路を確保するとともに、通学バスの送迎に要する乗車時間は、30分以内を基本とする。

また、体力向上等のために徒歩通学が有効であることから、通学路の安全が確保できる範囲において、乗降場所は、必要最小限の設置とする。

基本的な考え方にもとづき、利用基準等を下記のとおりとして、「走行計画（バス別時刻表）」を作成する。

・利用基準

行政区内に3km地点がある行政区を概ね3km以上の行政区とする。

小川鉾田線に歩道が無い箇所があるため、田中台を「県道が通学路となり、歩道等による安全が確保できない行政区」として対象とする。

行政区名	距離	児童数	1年生	2年生	3年生	低学年	4年生	5年生	6年生	高学年
1 倉数川向	完全3kmを越す	13	2	3	4	9	1	2	1	4
2 与沢百里	完全3kmを越す	6		1	2	3	2	1		3
3 清水頭	完全3kmを越す	16	4	5	4	13		3		3
4 下田(二)	完全3kmを越す	4		2	1	3	1			1
5 外之内	完全3kmを越す	28	5	4	5	14	6	3	5	14
6 倉数川前	完全3kmを越す	19	4		5	9	4	2	4	10
7 与沢	完全3kmを越す	21	3	4	4	11	2	5	3	10
8 宮田	完全3kmを越す	5	2	2		4			1	1
9 小川ニュータウン	行政区の中に3km地点	25	3	7	4	14	4	4	3	11
10 下田(一)	行政区の中に3km地点	8	2	1	2	5			3	3
11 羽木上	行政区の中に3km地点	16	2	4	2	8	1	3	4	8
12 山野	行政区の中に3km地点	23	5	3	6	14	1	4	4	9
13 中根	行政区の中に3km地点	19	3	3	7	13	3	2	1	6
14 田中台	3km以内	12	2	3	2	7	3	1	1	5
	合計	215	37	42	48	127	28	30	30	88

※児童数は、開校時の推計（平成29年4月現在の住民基本台帳による。）

・運行経路及び乗降場所

一番遠い距離の行政区を始点として、学校までの最短経路を基本とする。

車両が進入して、停車できる場所とする。路上での停車は、極力、避ける。

乗降場所までの距離は、1.5km（徒歩で30分以内）を目安とする。ただし、安全に乗降できる場所がこの範囲にない場合は、この限りでない。

維持管理が、円滑に行えるように、公共施設の敷地等を優先して活用する。

	ルート／距離（乗車時間）	対象行政区	人数	合計	使用する主な道路	乗降場所（仮）
1	下田（二）ゴルフ場ルート 7.2km（16分）	下田（二） 宮田 下田（一） 中根	4 5 8 19	36	市道小101号線 県道玉里水戸線	ゴルフ場付近（市道小101号線沿い） 宮田防災公園
2	与沢百里公民館ルート 6km（12分）	与沢百里 与沢	6 21	27	市道小112号線 県道小川鉾田線	与沢百里公民館 橘小
3	橘小ルート 4km（8分）	羽木上	16	16	県道小川鉾田線	橘小
4	倉数公民館ルート 6km（12分）	倉数川向 倉数川前	13 19	32	県道小川鉾田線	倉数公民館
5	浄水場ルート 3km（6分）	小川ニュータウン 山野 田中台	25 23 12	60	県道小川鉾田線 市道小108号線 市道小109号線	浄水場前（歩道）
6	そららルート 6km（12分）	清水頭 外之内	16 28	44	県道大和田羽生線 県道小川鉾田線	空のえき「そ・ら・ら」

・その他

車両の借上げも含めた、業務委託とする。

【参照】バスについて

バスの定員は、補助席を使用しない正席のみの数とする。

参考定員数 ・マイクロバス 22人 ・中型バス 37人 ・大型バス 45人

※使用車両は、対象人数にあわせた最低台数とする。ただし、乗降場所の状況等により想定した車両が使用できない場合がある。